

連携機関のお知らせです

10x Genomics社

MO4008 新鮮検体からのシングルセル解析

Chromium Controller

MC0025 新鮮・固定検体からのシングルセル解析

Chromium iX

開催日時

2024年5月9日（木）18：00～19：00

開催形式：Webミーティング（Zoom）

セミナー後、希望の方は 信濃町キャンパス 総合医科学研究棟6階会議室にて個別面談など承ります。

Chromium Controller

（2021～運用中9N3から3N7へ移設）

組織・臓器



シングルセル化



STOP

RNA seq反応

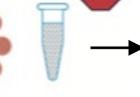


Seq/可視化

Chromium iX
（新規導入）

NEW

組織・臓器



STOP

STOP

STOP

Fixed and dissociate

Single cell suspension

RNA seq反応

iXメリット

- ①Controllerと同じ実験が可能(新鮮検体)
- ②凍結・固定サンプルから解析が可能
- ③凍結や固定をすることによりその瞬間の発現状況を固定可能（タイムコースなど）
- ④凍結・固定検体では複数のステップで実験を止められ、サンプルをまとめて処理可能

iXデメリット

- ①デザイン済みヒト1.8万/マウス2万のプロープから伸長反応(polyAからではない)
- ②ヒト・マウスのみ（2024年5月現在）
- ③FFPEは凍結より感度低下

演者：川島 佑介 (Sales Executives)

松山 春代 (Senior Field Application Support) (10x Genomics社)

下記のURLもしくは右記QRコードから申し込みフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/WiXCcg2iUq4EBDMa9>

申し込み締切 5月9日（木）10：00

フォームで申し込みの方にセミナーIDをお知らせします。電話での受け付けはしていません。協力企業からの連絡のみを希望される場合もフォームからご連絡ください。記入内容は協力企業と情報共有させていただきます。後日オンデマンド配信をご希望の方もフォームでお申込みください。

<https://forms.gle/WiXCcg2iUq4EBDMa9>



iXCcg2iUq4EBDMa9

シングルセル解析は、ヘテロな細胞集団で構成される組織を解析するツールとして注目を集めています。遺伝子発現解析に加えて、エピゲノミクス、プロテオミクスなど複合的な解析を行うことで、個々の細胞の応答やフェノタイプをより正確に知るできるようになりました。

今回のセミナーでは機器の説明に加え、Chromium iXで追加で出来るようになったFixed RNA Profiling (Flex)および新しいバージョンのGEM-Xについて紹介いたします。また、Flexでは凍結組織からの実験が開始可能で、実験の幅が増え、凍結組織をどのような条件でご準備いただくかについても紹介させていただきます。

これからシングルセル解析を始めようとする研究者、また既にChromium Controllerでシングルセル解析を実施している研究者にも興味を持っていただける内容をご紹介します。

問い合わせ先

メーカー：10x Genomics : Sales Executive 川島 佑介
(yusuke.kawashima@10xgenomics.com)

学内：共同利用研究室中央機器管理部門 藤原chuokiki-office-group@keio.jp
<https://sites.google.com/keio.jp/corr-cf/home>

代理店 理科研 株式会社東日本営業第一部 営業第三課 営業担当
山田 哲大 (YAMADA TETSUHIRO)
E-mail:t-yamada@rikaken.co.jp

有志の大学共同利用施設がゆるやかに連携して活動しています。学部・大学・機関の壁を越えてふってご参加ください。